



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 相澤 隆
幹事 佐藤 卓立

クラブ奉仕委員会
委員長

会報・雑誌・広報・
IT 小委員会委員長

黒澤 信之

大平 謹一郎

令和元年 8 月 19 日(月) 第 6 回 通算第 1540 回例会

・例会日/月曜日 12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市栄町 5 の 1 ホテル辰巳屋 7 F ☎(024)524-1010・FAX(024)524-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第 6 回例会 点鐘 12:30

◇開会点鐘 相澤 隆会長

◇ロータリーソング「我等の生業」

ソングリーダー 高橋 智弘 会員



◇お客様並びにビジター紹介

RI 第 2530 地区 県北第一分区

ガバナー補佐 遊佐 金一様

分区幹事 内藤 哲太郎様

◇会長あいさつ 相澤 隆会長



皆さんこんにちは。

今日は今年度第 2 回目のガバナー補佐訪問ということで、遊佐金一ガバナー補佐と内藤哲太郎分区幹事に出席していただいております。ありがとうございます。

今月 8 日に「立秋」、そして月遅れのお盆も過ぎまして、暑さの中にも秋を感じる「残暑の季節」となりました。

まず初めに、前回の例会から大分、間が空きましたので、最近の主なクラブの動きについて報告させていただきます。

前回の早朝例会終了後に、理事会が開催され、新会員として、東日本テクノロジー株式会社代表取締役

役の寺島英樹(てらしま・ひでき)氏の加入が承認されました。推薦人は大平会員で、7 日間の開示期間を経て、異議申し立てがなければ入会が認められるという流れとなります。

理事会に引き続き、安達太良カントリークラブで今年度第 1 回のゴルフコンペが開催されました。猛暑の中ではありますが、熱中症になることもなく、なんとか全員無事にプレーを終えることができました。コンペの方は西形会員が、厳しいハンデをものともせず見事、ベスグロで優勝されました。おめでとうございます。

翌日、5 日には、理事会で承認を受けました「聖光学院高校甲子園出場激励金」を贈呈するため、高梨社会奉仕委員長と私の 2 人で同校を訪問し、新井秀校長に激励金を手渡してまいりました。

さらに、同日の午後 7 時から、北塩原村の裏磐梯レイクリゾートにおきまして「国際ロータリー会長歓迎晩餐会」が開催され、佐藤幹事と 2 人で参加してまいりました。

マーク・ダニエル・マローニー会長とゲイ夫人は、4 日から 6 日まで 3 日間の日程で本県を訪問され、初日は福島中央ロータリークラブが開いた特別例会に出席。2 日目は、浪江町の認定こども園「浪江にじろこども園」を訪れ、東日本大震災と福島第一原発事故からの復興を願ってソメイヨシノを植樹した後、相双分区 6 クラブの合同例会に出席。福島市に移動して県庁で内堀知事と会談し、夜から歓迎晩餐会に臨まれました。

晩餐会では、芳賀裕ガバナーが「8 年 5 カ月前の東日本大震災と原発事故に対して、世界各地のロータリアンから寄せられた多くの支援に改めて感謝するとともに、今回の会長ご夫妻の訪問によって、復興の様子が世界のロータリアンに伝わり、当地区と世界とのつながりが、より広がることを期待したい」と歓迎のあいさつを述べられました。

これに対して、マローニー会長は「私は今年、ロータリーは世界をつなぐというテーマを掲げさせていただきました。ここ福島の地を訪れ、皆さんとお話をしている中で、そのテーマ通りのつながりを何度も実感しました」と話されました。なお、マローニー会長は翌日の 6 日、五色沼や諸橋近代美術館などを見学して、本県の訪問日程を終えたとのことであり

このほか、9日には県北第一分区の第3回会長幹事会がクーラクーリアンテ・サンパレスで開かれましたが、本日、遊佐ガバナー補佐がお見えになっておりますので、内容等の説明はお任せすることとしまして、あいさつとさせていただきます。

◇幹事報告 佐藤卓立幹事

○例会変更のお知らせ

・福島北RC20日(火)の例会は、18時よりローゼンケラーにて夕涼み家族夜間例会となります。

○その他のお知らせ

・8月ロータリーレートは1ドル108円となりますのでお知らせ致します。

委員会報告

◇出席・スマイリングBOX小委員会 黒澤信之委員長

○遊佐金一様(県北第一分区ガバナー補佐)＝本日第2回目のクラブ訪問となります。宜しくお願い致します。

○内藤哲太郎様(分区幹事)＝第2回目ガバナー補佐訪問よろしくお願ひします。

○相澤隆会長＝遊佐ガバナー補佐、分区幹事の今年度第2回目の訪問を歓迎いたします。

○佐藤卓立幹事＝遊佐ガバナー補佐、分区幹事2回目のクラブ訪問歓迎致します。本日スピーチよろしくお願ひ致します。

○大平謹一郎会員＝ガバナー補佐の来訪を歓迎致します。

○久米允彦会員＝遊佐AGを歓迎申し上げます。

○鈴木悦夫会員＝毎日、暑いです。

——遊佐ガバナー補佐のスピーチによせて——

○齋藤武二会員 ○佐藤宗弘会員 ○佐藤慶行会員

○高梨哲男会員 ○高橋智弘会員 ○野尻榮一会員

○黒澤信之会員

本日のスマイリングBOX集計14件 31,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇会報・雑誌・広報・IT小委員会報告 大平謹一郎委員長
*「友」8月号紹介



8月は会員増強・新クラブ推進月間です。

横組P3 RI会長メッセージが掲載されています。2019-2020年度、ロータリーを育てようと呼び掛けています。最も重要なのは、多くのことを成し遂げる為に会員を増やしてください。活発な会員増強委員会を各クラブでつくってください。その他、

新しい種類のクラブを結成し、今までとは違う形の例会を行い、人々の心をつかむ奉仕の機会を提供してください。

横組P7に特集「クラブ活性化させる同好会 趣味を通してつながろう!」と、全国のユニークな同好会が紹介されています。

P13に同好会・課外活動の10のメリットがのっています。

横組P24のよねやまだよりにはロータリー米山記念奨学事業の基礎知識が掲載されています。今月号と9月号を読めば「米山とは何か」「特徴は?」「寄付はどのように使われているか」等基本的な情報が分かる仕組みになっています。

表紙 今月号よりイラストレーター佐久間真人さんが来月6月迄、横組の表紙を飾ります。季節を感じさせる光景や色とともに、作者いわく「過去のような未来のような、日本のような、そうでないような、ノスタルジックな世界を2匹の白猫が11ヵ月旅行します。」

縦組の表紙は「ロータリーソング」の提唱者「ハリー・ラグルス」さんです。

縦組P4 スピーチには甲府北RC創立50周年記念講演が掲載されています。都留文科大学の松土清さんの講演で「言葉の力」読みごたえがありました。

P15 友愛の広場に福島21RC望木さんの寄稿文「桜は負けない希望を照らす」がのっています。

◇本日のプログラム——ガバナー補佐スピーチ

○県北第一分区ガバナー補佐 遊佐金一様



福島西ロータリークラブ、相澤隆会長はじめ会員の皆さん、こんにちは。

本日は第2回のガバナー補佐訪問に内藤幹事と共に訪問させていただきました。

わたくしも、県北第一分区の7つクラブに第一回のガバナー補佐訪問をさせて頂き、たくさんの友情と「つながり」を感じながら、貴重な経験をさせて頂いております。そして、大変感心する例会のあり方を拝見することができました。

あるクラブの新入会員入会式に立ち会いました。入会者は会場に入らず、皆さんが会場で全員立ち上がり、整列され大きな拍手の中、音楽と共に推薦者と会場に入場され、おごそかの中で入会式が行われました。またあるクラブでは、入会した会員の名前を一年間、敬意と歓迎の気持ちで貼りだしているク

ラブもありました。

各クラブで何気なく当たり前に行っていることに、クラブを繁栄させる大きなヒントがあることに気が付きました。また、入会審査にしっかりと時間を費やし、ロータリーとは何か！をしっかりと伝え、よく理解した上で覚悟を決めて入会されるクラブもございました。このようなクラブは退会される会員が少ないようです。これも大変ためになりました。

例会の運営でも、地区に出向いた会員さんが研修の内容や感想を述べるクラブもございました。このようなことは地区とクラブ会員を「つなぐ」大変良い慣習であると感じました。各委員会の報告では、会員の奉仕の内容を掲示板に貼りだすクラブもありました。

各クラブの例会の出席率はおおよそ60%ぐらいですので、どうすれば良くなるかを共通課題として検討してみてもいいと思います。

自分なりのロータリーについてお話をさせていただきます。

28年前に入会して以来、奉仕としては、地域に重点をおいてきました。公園など植樹各施設などにも、駅や、道路の脇などにはプランターを設置してパンジーなどの花の植え付け3年前まで続けていました。また、智恵子の森公園には石で作った、椅子テーブルを寄贈しました。クラブとしては、これらの社会奉仕の思いを会員と共に協議のうえ、実行してきました。自分も仕事をしている中での奉仕ですので、地域の人々に喜ばれることがより良い奉仕であると思います。現役でいられる限り、奉仕は続けて行くつもりです。

RI会長マーク・ダニエル・マローニーさんが8月4日福島に来県しました。福島中央ロータリークラブの「30周年事業特別例会」に参加して和やかに開催されました。

会長夫妻には、初めて会いましたが、穏やかな性格の夫妻でとても感激いたしました。来賓のあいさつ後、マローニー会長さんの祝辞の中で、青森県沖の地震が発生し震度4、5でしたが会長は、びっくりもしないで、テーブルにつかまっていた。その時マローニー会長の体と心の大きさを感じました。市長さんが、すぐに収まりますと話しますと、慣れているようなことを話していました。会場も収まりスピーチは通訳を通して、お話を30分、懇親会では会員の方たちと名刺交換などをしてくれました。私も通訳を通じて、名刺交換をしました。

翌5日には、被災地視察に、私は同行しませんでした。夕方猫魔ホテルでのRI会長夫妻歓迎晩餐会には、会員が260名の参加で7時から開催されました。その中でも、ガバナー経験者、国際ロータリーの理事などのあいさつ後、マローニー会長のスピーチが通訳を通じてお話をしてくれましたが、残念ながら離れたテーブルでしたので、よくは聞こえませんでした。会員さんたちも、静かに聞き入ってい

ました。

懇親会前には、東山温泉の芸子さんたちによる歓迎の舞を披露しました。マローニー夫妻も浴衣に着替えをして楽しんでくださり大喜びでした。大変有意義な2日間でありました。

先日の8月10日福島市で「復興フォーラム」第一回実行委員会が開催されました。各クラブへの「復興フォーラム」における依頼事項を説明したいと思います。

2020年3月は、東日本大震災から10年目に入る月であり、3月26日には「復興オリンピック」の聖火リレーが福島県から出発する特別な意味を持つ月となります。

東日本大震災に際し、当地区に世界から寄せられた多くのご支援の現状や未来への希望を発信するという趣旨で2020年3月21日(土)、22日(日)に「復興フォーラム」を開催する予定です。

つきましては、この機会に各クラブより、これまでの8年5か月の間、各地域で復興支援を受け、自らも支援活動を行ってこられた多くの実績を、とりまとめたいと考えております。また支援活動が姉妹クラブや友好クラブ等に発展し現在の奉仕活動につながっているというような事例等もお寄せいただく、資料のご提供をお願いしたいと思います。

当地区から東日本大震災からの復興を発信することで、今年度のRIテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」を体现し、更なるロータリーの活動の発展につながるようにしたいと考えております。

各クラブの皆様におかれましては、ご多忙のところ恐縮ですが、この趣旨をご理解のうえ、9月30日(月)までガバナー事務所へ、ご提供をお願い致します。

続きまして、現時点での復興フォーラムの内容をお話しします。

～3月21日(土)～

午前中は福島市からバスで被災地現状視察を行います。

行先は、浪江、南相馬など視察します。

15時に福島市に戻り

16時30分より参加者懇談会

17時から「吉田昂城君帰国演奏会」

17時30分から参加者懇談会が行われます。

～3月22日(日)～

パレスいざかで、9時からイベント「青少年交換スプリングキャンプ」

3地区の派遣学生による決意表明のスピーチを行います。

10時から開会セレモニー

10時45分から青少年シンポジウム

(スライドで紹介)

「若者が語る3.11とこれからの福島」

震災を学伝え続けている若者からのメッセージ

震災をきっかけに未来への扉が開いた青年の物語

「吉田昂城」

昼食後

13時からロータリーは世界をつなぐ

(スライドで紹介)

- 1、あの日の福島はそしてロータリアンはどう動いたか
- 2、3.11を学びに変えて、被災時の留学生の対応の教訓から生まれた危機管理対策など

14時 休憩をはさみ

14時10分から

- 3、伝えきれないありがとう
～震災がつかないだロータリーの友情～

全世界からの支援の一部を紹介

15時からフィナーレ

福島から世界へ

「つなごう希望の光」～映像と共に～

15時30分 閉会セレモニー

～感謝のメッセージ～

計画案により実行していくようになりますので
協力をお願いします。

以上で 私のスピーチをおわります。

ありがとうございました。

◇閉会点鐘

※会報カメラ担当

相 澤 隆会長

大 平 謹一郎会員



～聖光学院高校への激励金贈呈～



～ RI会長歓迎晩餐会～

●他RC例会場・例会日

クラブ名	曜 日	例 会 場 名	クラブ名	曜 日	例 会 場 名
福 島 R C	木曜日	クーラクーリアンテサンパレス	飯 坂 R C	木曜日	吉川屋
福 島 南 R C	水曜日	クーラクーリアンテサンパレス	福 島 北 R C	火曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島中央RC	水曜日	ザ・セレクトン福島	福 島 東 R C	金曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福 島 21 R C	木曜日 18:30～	クーラクーリアンテサンパレス	福島しんたつRC	月曜日 18:30～	福島県青少年会館